

Ⅱ 目標の達成状況と中間評価

- 1 目標の達成状況
- 2 重点項目別の課題

II 目標の達成状況と中間評価

1 目標の達成状況

平成29年度に策定した第2次計画の実績に対し、令和3年度に中間評価・見直しを行いました。目標の達成状況は、◎が目標を達成したものです。

「↓：悪化」は26項目で最も多く、新型コロナウイルス感染症の影響が出ていると考えられます。

【目標達成状況の評価】

◎：目標値達成 目標を達成 →：変化なし H27と比較して、-3.9%~3.9%
○：改善 H27と比較して、4.0%以上改善 ↓：悪化 H27と比較して、4.0%以上悪化

中目標	指標	実績 (H27)	実績 (R2)	達成 状況	目標値 (R8)
1- (1) がん 大目標 ~がんの早期発見・早期治療~					
がん検診受診率の向上を図ります※1	胃がん検診受診率	10.4% (13.8%)	7.0%	↓	18.9%
	肺がん検診受診率	24.4% (33.5%)	20.2%	↓	43.3%
	大腸がん検診受診率	18.7% (23.8%)	17.8%	↓	27.0%
	乳がん検診受診率	14.4% (25.8%)	14.5%	→	27.1%
	子宮頸がん検診受診率	20.3% (22.7%)	20.0%	→	24.7%
1- (2) 高血圧・糖尿病 大目標 ~生活習慣病予防に取り組もう~					
自分の健康に関心を持つ人を増やします	週に1回以上血圧をはかる人の割合 (市民健康調査)	12.7%	13.9%	◎	13.2%
	週に1回以上体重をはかる人の割合 (市民健康調査)	33.0%	34.5%	○	35.0%
	特定健康診査受診率 (特定健康診査)	39.3%	※2 R1 45.0%	○	60.0%
	BMI 25.0以上の割合 (特定健康診査)	32.9%	※2 R1 34.3%	↓	31.0%
生活習慣を見直す機会を増やします	特定保健指導実施率 (特定健康診査)	24.2%	25.6%	○	60.0%
	生活習慣改善事業延べ参加者数	3,744人	1,929人	↓	4,000人
メタボリックシンドローム該当者を減らします	メタボリックシンドローム該当者の割合 (特定健康診査)	21.7%	※2 R1 24.4%	↓	20.4%

※1 各種がん検診受診率の算出方法が平成28年度より変更となったため、平成27年度については変更後と同様の方法で算出し、() 内に変更前の受診率を記載しています。

※2 令和元年度国民健康保険特定健康診査結果法定報告

中目標	指標	実績 (H27)	実績 (R2)	達成 状況	目標値 (R8)
1－(3) COPD 大目標 ～COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度の向上～					
COPDについて知っている人を増やします	COPDについて知っている人の割合 (市民健康調査)	48.1%	55.6%	○	80.0%
2－(1) 栄養・食生活 大目標 ～バランスのとれた食生活～					
自分の食事の適量・ バランスがわかる人 を増やします	適正体重の子の割合 (3歳児健診)	94.1%	88.9%	↓	97.8%
	適正体重の児童生徒の割合 【小5・中2】 (児童生徒の健康実態調査教育委員会調べ)	小5 82.3% 中2 85.2%	81.3% 80.9%	→ ↓	小5 85.5% 中2 88.6%
	BMI 25.0以上の割合 (特定健康診査)	32.9%	※ ¹ R1 34.3%	↓	31.0%
	夕食後の間食を取る人の割合※ ² (KDB)※ ³	10.9%	—	—	9.8%
減塩を心がけて食事 をする人を増やします	減塩を心がけて食事をする人の割合 (市民健康調査)	57.6%	57.5%	→	60.0%
毎食野菜を食べる人 を増やします	野菜や海藻のおかずを毎食食べる 割合 (市民健康調査)	31.6%	28.7%	↓	33.0%
朝食を食べる子ども を増やします	3食食べている子の割合 (3歳児健診)	97.0%	97.5%	→	100.0%
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合 【小5・中1】 (宮城県児童生徒学習意識等調査)	小5 89.7% 中2 85.0%	小5 85.0% ※ ⁴ 中1 83.9%	↓ →	小5 93.3% ※ ⁴ 中1 88.4%
飲み物選びを心がけ る人を増やします	水・お茶以外の甘い飲み物を毎日飲 む人の割合【大人】(市民健康調査)	29.9%	32.5%	↓	28.0%
	甘い飲み物を毎日飲む子の割合 (3歳児健診)	42.6%	38.5%	◎	40.0%以下
2－(2) 身体活動・運動 大目標 ～活動的な生活を送ろう～					
意識的に身体を動か す人を増やします	いつも意識的に身体を動かすよう に心がけている人の割合 (市民健康調査)	32.4%	32.5%	→	35.0%
	1日1時間以上の歩行または同等 の身体活動をしている人の割合 (KDB)※ ³	50.2%	※ ³ R1 50.8%	→	52.7%
運動やスポーツを習 慣にしている人を増 やします	1日30分以上の運動を週2日以上 している人の割合(汗をかくような 運動) (KDB)※ ³	33.7%	※ ³ R1 35.1%	◎	35.0%
運動する機会や場を 提供します	ダンベル体操や出前講座等の運動 に関する教室等の開催回数	1,552回	784回	↓	1,600回

※1 令和元年度国民健康保険特定健康診査結果法定報告

※2 特定健康診査の問診項目から削除されたため、平成30年以降の実績値は空欄とし、評価ができない状況です。

※3 国保データベースの数値です。

※4 宮城県児童生徒学習意識等調査の対象が平成29年以降、小学5年生と中学1年生に変更されています。

中目標	指 標	実 績 (H27)	実 績 (R2)	達成 状況	目標値 (R8)
2- (3) こころの健康 大目標 ～地域でこころの健康づくり～					
ストレスがあっても、自分なりに処理できる人を増やします	ストレスがあっても自分なりに処理できている人の割合 (市民健康調査)	72.1%	76.8%	○	77.0%
こころの健康づくりに関心のある市民を増やします	こころの健康づくりに関する事業の参加者数	3,227人	1,061人	↓	3,360人
こころの相談ができる機関を知っている人を増やします	こころの相談ができる専門機関を知っている人の割合【全体】 (市民健康調査)	37.6%	41.8%	◎	39.5%
	パンフレットの配布枚数	18,834枚	41,021枚	◎	20,000枚
こころの相談に関する支援や連携を地域で推進します	こころのケア関係機関との連携会議	63回	57回	↓	66回
	連携ケア会議の回数	175回	121回	↓	185回
自殺予防に取り組みます	自殺死亡率(人口10万対:人口動態統計)	17.6 (19.4)	* ¹ H30 16.7	—	* ² 14.2 (18.5)
2- (4) 飲酒 大目標 ～適性飲酒に取り組もう～					
休肝日をもうける人を増やします	休肝日をもうけている人の割合 (市民健康調査)	60.0%	63.1%	◎	63.0%
適正飲酒者を増やします	多量飲酒者(3合以上)の割合 (KDB)* ³	3.4%	* ³ R1 3.0%	◎	3.0%
2- (5) 喫煙 大目標 ～たばこの害を知ろう～					
受動喫煙の機会を減らします	家庭で受動喫煙の機会を有する人の割合 (市民健康調査)	20.2%	16.3%	○	3.0%
	職場で受動喫煙の機会を有する人の割合 (市民健康調査)	21.9%	16.2%	○	0.0%
喫煙者を減らします	喫煙者の割合【男】 (特定健康診査)* ⁴	26.6%	* ⁴ R1 27.2%	→	25.7%
	喫煙者の割合【女】 (特定健康診査)* ⁴	6.4%	* ⁴ R1 6.8%	↓	5.9%
COPDについて知っている人を増やします	COPDについて知っている人の割合 (市民健康調査)	48.1%	55.6%	○	80.0%

※1 最新の平成30年度の数値です。

※2 平成31年に策定した「石巻市自死対策推進計画」に基づき変更しています。()内には変更前の値(地域における自殺の基礎資料)を記載しています。

※3 国保データベースの数値です。

※4 令和元年度国民健康保険特定健康診査結果法定報告

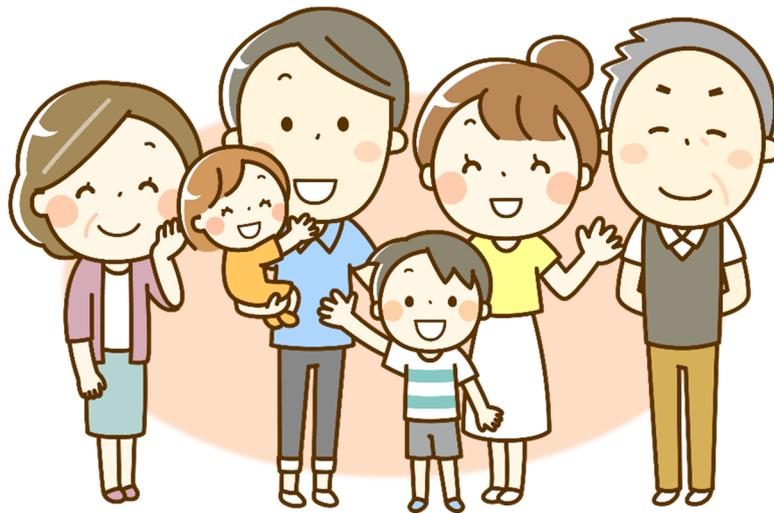
中目標	指 標	実 績 (H27)	実 績 (R2)	達成 状況	目標値 (R8)	
2 (6) 歯・口腔の健康 大目標 ～子どものころから8020運動～						
むし歯のない子どもを増やします	3歳児1人平均むし歯の本数 (3歳児健診)	1.20本	1.09本	○	1.00本	
	12歳児1人平均むし歯の本数 (学校歯科検診)	1.90本	1.32本	◎	1.50本	
	3歳児のむし歯のない子の割合 (3歳児健診)	71.8%	76.2%	◎	75.0%	
	12歳児でむし歯の治療をしている子の割合 (学校歯科検診)	36.8%	25.2%	↓	40.0%	
定期的に口腔チェックする人を増やします	定期検診のために受診している人の割合 (市民健康調査)	29.8%	35.9%	◎	33.0%	
飲み物選びを心がける人を増やします	水・お茶以外の甘い飲み物を毎日飲む人の割合【大人】 (市民健康調査)	29.9%	32.5%	↓	28.0%	
	甘い飲み物を毎日飲む子の割合 (3歳児健診)	42.6%	38.5%	◎	40.0%以下	
歯みがきの習慣が身についている人を増やします	毎食後に歯をみがく人の割合 (市民健康調査)	25.2%	28.7%	◎	27.0%	
3 次世代の健康 大目標 ～子どものころから健やかに育つ地域の実現～						
親子で健康づくりを考える機会や場を提供します	小中学校におけるたばこやアルコール等の害についての講演回数※1	57回	※154回	◎	57回	
	親子で健康づくり等を学ぶための教室や講座等の回数	275回	190回	↓	286回	
早寝、早起き、朝ごはんの習慣ができる子を増やします	午後9時前に寝ている幼児の割合 (母子保健アンケート)	39.5%	41.8%	◎	41.0%	
	3食食べている子の割合 (3歳児健診)	97.0%	97.5%	→	100.0%	
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合【小5・中1】 (宮城県児童生徒学習意識等調査)	小5	89.7%	小5 85.0%	↓	小5 93.3%
		中2	85.0%	※2中1 83.9%	→	※2中1 88.4%
	適正体重の子の割合 (3歳児健診)	94.1%	88.9%	↓	97.8%	
適正体重の児童生徒の割合【小5・中2】 (児童生徒の健康実態調査教育委員会調べ)	小5	82.3%	81.3%	→	小5 85.5%	
	中2	85.2%	80.9%	↓	中2 88.6%	

※1小中学校においては、学校保健年間計画に薬物乱用防止教室等を位置づけ、すべての学校で実施しています。

※2宮城県児童生徒学習意識等調査の対象が平成29年以降、小学5年生と中学1年生に変更されています。

中目標	指標	実績 (H27)	実績 (R2)	達成 状況	目標値 (R8)
地域の中で安心して 子育てができるよう にします	子育ての相談窓口を知っている人の割合 (母子保健アンケート)	65.7%	78.2%	◎	72.0%
	子育て支援センターなどで実施している育児相談等の回数	245回	140回	↓	255回
	この地域で今後も子育てしたい人の割合 (健やか親子21アンケート)	60.0%	60.8%	→	63.0%
4 高齢者の健康 大目標 ～こころも体もいきいき・元気高齢者の増加～					
自分の健康に関心を持つ、元気な高齢者を増やします	高齢者の健康づくり教室延べ参加者数	5,939人	2,079人	↓	6,200人
	後期高齢者健診受診率	25.7%	28.1%	◎	27.0%
高齢者の交流の場や機会を提供します	高齢者の交流会及びサロン等のグループ数	※1 247 グループ	199 グループ	↓	300 グループ

※1 平成28年12月末現在の実績です。



2 重点項目別の課題

2-1 がん・生活習慣病の予防

(1) がん 大目標～がんの早期発見・早期治療～

【目標達成状況の評価】

◎：目標値達成 目標を達成 →：変化なし H27と比較して、-3.9%～3.9%
 ○：改善 H27と比較して、4.0%以上改善 ↓：悪化 H27と比較して、4.0%以上悪化

指標	実績						達成 状況	目標値 R8
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
がん検診受診率の向上を図ります								
胃がん検診受診率	10.4% (13.8%)	10.5%	10.4%	10.3%	10.0%	7.0%	↓	18.9%
肺がん検診受診率	24.4% (33.5%)	24.6%	23.9%	23.7%	22.8%	20.2%	↓	43.3%
大腸がん検診受診率	18.7% (23.8%)	18.4%	18.5%	18.6%	18.3%	17.8%	↓	27.0%
乳がん検診受診率	14.4% (25.8%)	16.5%	15.2%	14.6%	15.0%	14.5%	→	27.1%
子宮頸がん検診受診率	20.3% (22.7%)	20.1%	20.4%	20.3%	20.7%	20.0%	→	24.7%

※各種がん検診受診率の算出方法が平成28年度より変更となったため、平成27年度については変更後と同様の方法で算出し、() 内に変更前の受診率を記載しています。

- 主要死因の第1位は、悪性新生物（がん）であり、増加傾向にあります。また、がんの人口10万対死亡率は、372.4と宮城県（288.6）、全国（300.7）と比べて高い状況です。
- 各種がん検診の受診率は、低めで推移していますが、毎年のがん検診においてがんが発見され、早期発見・早期治療につながっています。令和2年度においては、コロナ禍の影響により、受診や検診を見合わせた方も多く、受診率が低下しています。



課題

がん死亡率減少のためには、がんの早期発見・早期治療が重要です。そのために各種がん検診及び精密検査の重要性について市民の理解を促すことが大切です。がん検診の受診率向上のために、あらゆる機会を活用して、受診勧奨するとともに、精密検査未受診者への再受診勧奨及び未把握者の動向把握を強化する必要があります。



(2) 高血圧・糖尿病 大目標～生活習慣病予防に取り組もう～

【目標達成状況の評価】

◎：目標値達成 目標を達成 →：変化なし H27と比較して、-3.9%~3.9%
 ○：改善 H27と比較して、4.0%以上改善 ↓：悪化 H27と比較して、4.0%以上悪化

指標	実績						達成状況	目標値 R8
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
自分の健康に関心を持つ人を増やします								
週に1回以上血圧をはかる人の割合（市民健康調査）	12.7%	—	—	—	—	13.9%	◎	13.2%
週に1回以上体重をはかる人の割合（市民健康調査）	33.0%	—	—	—	—	34.5%	○	35.0%
特定健康診査受診率（特定健康診査）	39.3%	39.1%	39.6%	41.3%	45.0%	—	○	60.0%
BMI 25.0以上の割合（特定健康診査）	32.9%	32.7%	33.0%	33.3%	34.3%	—	↓	31.0%
生活習慣を見直す機会を増やします								
特定保健指導実施率（特定健康診査）	24.2%	21.9%	27.3%	25.2%	25.6%	25.6%	○	60.0%
生活習慣改善事業延べ参加者数	3,744人	4,024人	4,476人	5,465人	6,199人	1,929人	↓	4,000人
メタボリックシンドローム該当者を減らします								
メタボリックシンドローム該当者の割合（特定健康診査）	21.7%	21.8%	22.3%	23.9%	24.4%	—	↓	20.4%

- 主要死因は、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患が上位を占めています。
- 特定健康診査の結果から受診率は45.0%で前回調査より5.7ポイント増加しましたが、宮城県の平均より低い状況にあり、宮城県内35市町村中28位、特定保健指導終了者率は21位となっています。
- 特定健康診査受診者の肥満割合は34.3%（宮城県内35市町村中14位）で3人に1人が肥満です。また、メタボリックシンドローム該当者の割合は24.4%（宮城県内35市町村中12位）で、4人に1人がメタボリックシンドローム該当者です。特定健康診査受診者の生活状況では、「喫煙」や「20歳時体重から10kg以上増加」、「1回30分以上週2回以上（1年以上）の運動習慣なし」、「1日飲酒量が1合以上」等の割合が、宮城県、全国と比べて高い状況です。
- 市民健康調査では、週に1回以上血圧を測る人の割合が13.9%、体重を計る人の割合が34.5%と増加していますが、40歳～64歳（第2号被保険者）の要支援・要介護認定者の半数以上が脳血管疾患を患っています。脳血管疾患の最大の危険因子は高血圧であることから、市オリジナルの家庭血圧記録票の配布を継続するなど、若い世代から家庭血圧測定の普及啓発を実施しています。

課題

生活習慣病の発症・重症化予防のためには、健診などを活用し一人ひとりが自分の体調に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことが重要です。そのために、健診の受診勧奨や血圧測定などの機会を通じてセルフチェックの必要性を普及啓発する必要があります。また、健診結果に基づいた医療機関の受診勧奨や個人にあった保健指導を実施することで生活改善に取り組んでいくことが必要です。

(3) COPD 大目標～COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度の向上～

【目標達成状況の評価】

◎：目標値達成 目標を達成 →：変化なし H27と比較して、-3.9%～3.9%
 ○：改善 H27と比較して、4.0%以上改善 ↓：悪化 H27と比較して、4.0%以上悪化

指標	実績						達成状況	目標値 R8
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
COPD について知っている人を増やします								
COPD について知っている人の割合（市民健康調査）	48.1%	—	—	—	—	55.6%	○	80.0%

○市民健康調査では、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度については55.6%と前回調査より7.5ポイント増加しています。

課題

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、予防可能な生活習慣病の1つです。COPDの認知度向上のため、喫煙が健康に影響があることや、COPDスクリーニング質問票^{※1}の活用等により、早期発見・早期治療が可能であることを普及啓発する必要があります。

※1 COPDの可能性の有無を調べられる質問票です

2-2 生活習慣・社会環境の改善

(1) 栄養・食生活 大目標～バランスのとれた食生活～

【目標達成状況の評価】

◎：目標値達成 目標を達成 →：変化なし H27と比較して、-3.9%～3.9%
 ○：改善 H27と比較して、4.0%以上改善 ↓：悪化 H27と比較して、4.0%以上悪化

指標	実績						達成 状況	目標値 R8
	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
自分の食事の適量・バランスがわかる人を増やします								
適正体重の子の割合（3歳児健診）	94.1%	93.1%	89.6%	92.2%	92.1%	88.9%	↓	97.8%
適正体重の児童生徒の割合【小5・中2】（児童生徒の健康実態調査教育委員会調べ）	小5							小5
	82.3%	80.3%	80.3%	82.5%	80.1%	81.3%	→	85.5%
	中2	85.0%	84.4%	83.7%	84.4%	80.9%	↓	88.6%
BMI 25.0以上の割合（特定健康診査）	32.9%	32.7%	33.0%	33.3%	34.3%	—	↓	31.0%
夕食後の間食を取る人の割合※1（KDB）※2	10.9%	11.7%	11.6%	—	—	—	—	9.8%
減塩を心がけて食事をする人を増やします								
減塩を心がけて食事をする人の割合（市民健康調査）	57.6%	—	46.4%	—	—	57.5%	→	60.0%
毎食野菜を食べる人を増やします								
野菜や海藻のおかずを毎食食べる割合（市民健康調査）	31.6%	—	25.0%	—	—	28.7%	↓	33.0%
朝食を食べる子どもを増やします								
3食食べている子の割合（3歳児健診）	97.0%	98.3%	97.7%	98.6%	97.9%	97.5%	→	100.0%
朝食を毎日食べる児童生徒の割合【小5・中1】（宮城県児童生徒学習意識等調査）	小5							小5
	89.7%	87.1%	86.7%	86.9%	84.9%	85.0%	↓	93.3%
	中2	中2	※3 中1	※3 中1	※3 中1	※3 中1	→	※3 中1
	85.0%	82.5%	85.3%	83.1%	83.6%	83.9%	→	88.4%
飲み物選びを心がける人を増やします								
水・お茶以外の甘い飲み物を毎日飲む人の割合【大人】（市民健康調査）	29.9%	—	28.9%	—	—	32.5%	↓	28.0%
甘い飲み物を毎日飲む子の割合（3歳児健診）	42.6%	41.5%	38.5%	40.5%	37.5%	38.5%	◎	40.0%以下

※1 特定健康診査の問診項目から削除されたため、平成30年以降の実績値は空欄とし、評価ができない状況です。

※2 国保データベースの数値です。

※3 宮城県児童生徒学習意識等調査の対象が平成29年以降、小学5年生と中学1年生に変更されています。

- 適正体重の子どもの割合は、3歳児健診で88.9%と目標値を下回り、児童生徒の割合（小5・中2）も減少傾向にあり、肥満が増加している状況です。
- 特定健康診査の結果から、BMI 25.0以上の割合は増加傾向にあります。
- 市民健康調査では、減塩を心がけている人は全体で57.5%ですが、男性は50.0%と女性(62.7%)に比べて低くなっています。
- 市民健康調査では、野菜や海藻を毎食食べる人が28.7%と全体の約3割となっています。
- 市民健康調査では、甘い飲み物を毎日飲む人(大人)は32.5%と全体の約3割となっています。



課題

バランスの良い食事をとることは健康な身体をつくるための基本です。乳幼児期から高齢者まで全年代において野菜摂取や減塩、飲み物からの糖分のとりすぎについて普及啓発することで、生活習慣病やむし歯、肥満等の予防につながると考えられます。

自分にあった食事の適量を知ることや飲み物選びに気をつける（特に甘い飲み物を控える）ことを引き続き啓発していくことが必要です。



「主食・主菜・副菜」をそろえてバランス良く食べましょう！

副菜

野菜や海藻、きのこなどを使ったメニュー
ビタミンやミネラルが豊富！
1日5皿以上を目指して！



主菜

肉や魚、卵、大豆・大豆製品
を使ったメニュー
1食で1品、1日3品を目安に！

主食

ごはんやパン、麺類など
1食で1品、きちんと1日3品を
とりましょう



その他

スープやみそ汁、果物、乳製品
などをプラス！
みそ汁などは具たくさんのも
のを選びましょう！

自分の適量・バランスの良い食事を心がけましょう